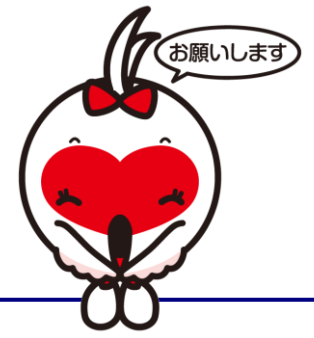


# リウマチニュース

## 特集！リウマトレックスはほんとに怖いのか？

今回の報道の真実を知って頂き、リウマトレックスの正しい服用の仕方と副作用の予防・対策について村沢先生からお話を伺いました。



Q) まず134人という死亡者数をどう見ますか？

A) 日本で本剤が承認されたのは平成11年です。それから昨年11月までの6年間に集計された数です。頻度としては1万人に3人(0.03%)となっています。

Q) 死因は何ですか？

A) 間質性肺炎と造血機能低下(骨髄抑制)が半々となっています。

Q) 死亡者が出た原因は何だと思えますか？

A) リウマトレックスは世界で最も広く強力な治療薬として使われています。日本でもポピュラーなりウマチ治療薬として認識されつつある反面、使用法・検査(血液、胸部X線)などの面で安易に使用されていたことも否定できません。

Q) では、どうすれば安全に服用を続けられますか？

A) 副作用には、肝障害・骨髄抑制・間質性肺炎があります。それを早期発見することです。その為に

①1ヶ月に1回は診察、血液検査を受けましょう。血液検査では肝障害と骨髄抑制をチェックします。

②副作用のサインを見逃さないようにしましょう。

「発熱」「から咳」「息切れ」は肺炎を、「口内炎」「疲れやすい」「食欲がない」などは骨髄抑制を疑います。これらの症状が見られたらリウマトレックスの服用を中止し、すぐにレントゲンや血液検査を受けてください。(近くの病院でもかまいません)

③服用の仕方が一人ひとり違います。医師の指示通りに服用してください。(例えば週に2錠、土日の朝のみという方もいます。決して一週間毎日飲まないようにしてください。)

Q) ありがとうございました。わからないことは診察で聞いていいですか？

A) どうぞ。

「これって副作用なのかな?」「かぜなのかな」などわからなくて不安なときは遠慮なく外来看護師にお話ください。電話での相談も受けています。

今年から2ヶ月に1回ニュースを発行することになりました。「こんな時どうするの?」「他の人はどんな工夫をして生活しているの?」などの質問や「こんなふうにリウマチと付き合っています」というお話などありましたら外来看護師に教えてください

